

Ngaratümetum

ガラトゥメトゥム

代表
ケルカン・テリー・アデルゲロイ広報
タリタ・ホーム

主な活動内容

- コミュニティワークデイの企画と参加
- タロイモ畑の水路の清掃
- 共同葬儀の手伝い
- 助成金への申請と参加
- コミュニティイベントのサポート



設立背景

100年以上にわたって存在してきた、ガラスマオ州にある伝統的な若い世代の女性組織。同州の伝統的な年配の女性組織であるガラエギルと非常に深い関係にある。

活動目的

伝統的な統治形態に則り年配女性組織ガラエギルのもと、地域社会のすべての人のためにガラスマオ州の構想実現に取り組む。

メンバーからの声 タリタ・ホームさん



ガラスマオ州は、過去には「オンゲデール」という別名で呼ばれていました。これは「方法を見つける/救う/修理する」を意味する「mengedechuul」というパラオ語の動詞が由来です。それ故に「不可能を可能にする」土地として知られ、この地域の住民は創造的で持続的な人々であると言われています。このような文化的背景のあるガラスマオ州には住民共通の夢があります。それは、安全で快適な家や農業や園芸のための恵まれた土地の保有、きれいな水や信頼のおける設備整備、そして健全で豊かな漁業環境など、整った生活を営むことです。我々ガラトゥメトゥムは、ガラスマオ州の伝統的な若い世代の女性組織で、ガラスマオ州で生まれた女性で構成されて、パラオ国内に約30~35人の会員がいます。私たちは、「オンゲデールの精神に従い、清潔で美しく安全な環境で団結し、健康的かつ生産的で幸せなコミュニティの形成を目指し、ガラスマオのすべての人々が共通認識の夢を実現できるようにする」というビジョンステートメントを掲げ、ひとりひとりが地域イベントへの金銭的な援助や飲食品や物資の寄付など、なにかしらかの方法で関わっています。

私たちは、ガラスマオ州の将来のため、教育による文化の継承に着目しています。現在のパラオにおける教育は、言語はもちろん文化や社会や歴史を米国の教科書を用いて教えます。しかしながら、私たちはパラオに関わる分野、特にガラスマオ州の歴史、社会や文化を教えたいと強く思います。子どもたちが、パラオに関する分野を学校で学ばないという事実は、子どもたちにパラオ人としてのアイデンティティが米国のそれに劣っているという印象を与えてしまう可能性があります。そして、これはガラスマオ州に限ったことではありません。パラオの各州には、それぞれ独自の社会形態、文化、歴史などがあり、それぞれの地域が学校教育を通し子どもたちに伝えることは、自己のアイデンティティを形成だけでなく、パラオの文化を保持・継承できる大切な機会となり得るのです。

代々受け継がれてきた組織を次世代へ継承するうえで苦勞もありますが、私たち会員の大多数は、JICAなど様々なパートナーと協力することを好ましいと思っており、将来、私たちの地域社会で積極的に活動したいと考えています。

Contact Information

☎ (680)775-4888